

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(7年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
沖縄県	大宜味村	大宜味地区	平成27年度	平成29年度	大宜味村

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)							7年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目		
必須 目標	① 経営面積の拡大	1 0	1 1	1 1	- -	- -	- -	- -	-
	② 農業の6次産業化								
	③ 農産物の高付加価値化	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	0%
	④ 経営コストの縮減								
選択 目標	⑤ 耕作放棄地の解消								
	⑥ 農業経営の複合化								
	⑦ 農業経営の法人化								
	⑧ 雇用								

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)							7年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等		
				1年度目 H27	2年度目 H28	目標年度 (3年度目) H29	4年度目 H30	5年度目 R1	6年度目 R2	7年度目 R3				
1		経営規模の拡大(単位:a)		125 108	125 125	125 128	-	-	-	-	-	-	経営農地筆別票	
		農作物の高付加価値化 (単位:本/10a)		3,000 2,653	5,000 2,486	7,500 2,035	7,500 2,065	7,500 2,335	7,500 2,484	7,500 3,563	48%	JA集荷実績集計表		
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)											
			生産コスト(円/10a)											
		経営コスト(円/10a)												
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)											
			生産コスト(円/10a)											
			経営コスト(円/10a)											

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

・新型コロナウイルス感染拡大による影響は落ち着いてきており、出荷制限は無くなったが肩痛や腰痛など体調が悪く出荷出来なかった日もあったため目標とする収量は達成できなかった。

・来年度にむけては、JA営農指導員・県普及課担当者・村担当者ともに作付け状況を現地で確認しながら目標達成に向け、取り組みを支援する。

IV 人・農地プランの作成状況

- (1) 作成した日 平成24年12月26日
- (2) 今後の見通し(未作成の場合)

--

〔記入要領〕

- 1 「現状」「目標」欄は、経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。
IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。
(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
「参考」欄については、
販売価格＝主な作物の10a当たり販売価格又は農業粗収益を記入する。
生産コスト＝主な作物の10a当たり生産費を記入する。
経営コスト＝10a当たり農業経営費を記入する。
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。
また、目標年度において目標を達成していない場合は、別途、別紙様式1-11号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記載する。